

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

発言者	会議の概要
総務課長	<p><b>1 開会</b></p> <p>定刻になりましたので、第1回小鹿野町政策審議会を始めさせていただきます。</p> <p>なお、審議会につきましては、会議録を作成するため録音をさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>今回は第1回目の開催になりますので、委嘱書の交付、会長の選任等を行い、議題に移っていききたいと思います。</p>
総務課長	<p><b>2 委嘱書の交付</b></p> <p>初めに各委員への委嘱書の交付を行います。(9番 須崎委員は欠席)</p> <p>委員名簿を配付させていただいておりますが、名簿順に委嘱書の交付を行います。</p>
町 長	委嘱書の交付(名簿番号1～10順次)
総務課長	<p><b>3 あいさつ</b></p> <p>次に、小鹿野町長 森 真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>
町 長	あいさつ
総務課長	<p><b>4 自己紹介</b></p> <p>次に、各委員、事務局の順に自己紹介をお願いします。</p> <p>名簿番号1番の小松委員より順次お願いいたします。</p>
各委員他	(各自、自己紹介)
総務課長	<p><b>5 議題 (1)会長の選出について</b></p> <p>次に、議題に入りたいと思いますが、議長につきましては小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、会長が議長になっていただきますが、まだ決まっておりませんので、事務局で進めさせていただきます。</p> <p>議題(1)会長の選出についてですが、小鹿野町政策審議会条例第4条第1項の規定により、審議会の会長は委員の互選により選出との規定がございますが、本日初めてお会いになる人も多くいると思われまますので、事務局より案を示させていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>会長として、小松征三委員を提案させていただきます。</p> <p>事務局案につきまして、ご意見はありますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p> <p>それでは、小松征三委員へ会長をお願いしたいと思います。</p> <p>小松会長 会長席へ移動してください。</p> <p>(会長席へ移動)</p> <p>ここで、小松会長よりあいさつをいただきたいと思います。</p>
小松会長	あいさつ
総務課長	これより、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、議長を小松会長へお願いしたいと思います。小松会長よろしく申し上げます。

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

小松会長	<p><b>(2)会長職務代理者の指定について</b></p> <p>それでは、議長という事で議事を進行させていただきます。</p> <p>次に、議題(2)会長職務代理者の指定についてですが、こちらにつきましては、小鹿野町政策審議会条例第4条第3項の規定により、会長より指定させていただきます。</p> <p>会長の職務代理者に、今井敏夫委員を指定します。</p> <p>会長職務代理者へ指定しました、今井敏夫委員よりあいさつをお願いします。</p>
今井会長職務代理者	あいさつ
小松会長	<p>それでは、会長職務代理者の席へ移動してください。</p> <p>ここで、会議録署名委員の指名をいたします。</p> <p>会議録署名委員に、宮林委員、吉田委員を指名します。</p> <p>(はいの声あり)</p> <p>よろしくお願いします。</p>
小松会長	<p><b>(3)小鹿野町政策審議会の趣旨説明</b></p> <p>次に、議題(3)小鹿野町政策審議会の趣旨説明について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	小鹿野町政策審議会条例、小鹿野町政策審議会会議規則を説明。
小松会長	次に、森町長より説明をお願いします。
町長	趣旨の説明(委嘱、設立の経緯等)
小松会長	ありがとうございました。それでは、今事務局からの趣旨説明、町長からの考え方がありました。皆さん何かご質問、ご意見等がありますか。
飯塚委員	<p>事務局の方にお聞きします。</p> <p>これは条例設置の審議会という事でよろしいのでしょうか。</p> <p>条例の第2条で、町長の諮問に対し答申するということになってはいますが、今後の審議会の中で諮問という形で提示されるという理解でよろしいのでしょうか。</p>
総務課長	そうです。
飯塚委員	<p>審議会として、まとめたものを答申するということでもよろしいのでしょうか。</p> <p>そうなりますと、先程の町長のお話は、今の地方創生の考え方、まさにそのものだと思うのですが、地方創生の考え方をまとめたものが、「小鹿野町まち・ひと・しごと創生総合戦略だと思うのですが、そちらの方にも反映したいということですが、改訂を予定しているのかも併せてお伺いします。また、町の総合振興計画にも反映させるのですか。</p> <p>そういうことであれば、そのスケジュールも次回には示していただきたい。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
総務課長	<p>今飯塚委員の方からお話のありました、総合振興計画は来年度改訂予定です。</p> <p>町長から、個別に依頼する案件につきましては、まとめて答申をいただくと、というような事になるかと思えます。ただ、この回で決定された事は先程町長からお話のありましたように、政策決定の段階で参考にしたということも含まれています。</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>従って、すべてが総合振興計画に反映するためのものにはならないと思います。</p> <p>議事の中身によって、そういった議論が始まるのかと思います。</p> <p>今の事は第2条第1項の部分に当たるかと思いますが、第2項で町長に対して意見を述べるという事もありますので、そういった事を踏まえて、町長に答申という形ではなくても、ご意見をいただくという風に考えているところです。</p>
町長	<p>総合戦略の話ですが、改訂をどうするというのもあるのですが、今のものは良くできていると思われるので、一つ一つこなしていけば素晴らしい町になるかと思えますし、さらにブラシアップしていくことが必要になると思えますので、皆さんに色々なアイデアを頂いて、進めていきたいと思っております。</p>
飯塚委員	<p>今のお話だと、総合振興計画策定の作業と、審議会の会議が同時に進行すると理解しましたが、両方のスケジュールを審議会の委員の皆さんに、次回はお出しただけならと思います。総合振興計画の策定を踏まえて、委員の皆さんも、私はこの時に思いを伝えたいというような事があると思えますので、同時並行で進むのであれば、スケジュールを共有してやっていければと思いますので、ぜひそれはお願いしたいと思います。</p>
総合政策課長	<p>総合振興計画を担当しておりますが、総合振興計画は今年の12月を目途に考えていきたいと思っております。基本構想の議会への提出を12月に予定し、議決をいただいた後、前期計画5年間の計画を作っていくと予定しています。審議会の事務局と調整し書面を作成していきますので、ご理解をいただきたいと思えます。</p>
吉田委員	<p>今、飯塚委員から行政的な手続きのお話があり、条例と規則を読ませていただきましたけど、委員としての立ち位置、委員として何をしたらよいのか、審議会という言葉からすると町長から諸課題を示されて審議をする立場なのか、一方で今後の町づくりをしていく上での、委員としてのアイデアを提案していく立場を含むのか、ただ審議だけであれば町民の立場で意見を述べるのか、委員としての立場を明確にしていれば、これから発言もし易いのですが。</p>
町長	<p>吉田委員のおっしゃるとおり、自分の思い、委員さんの思いを述べていただく事を、私は一番望んでいる所ですので、色々なご発言をいただければと思います。</p>
小松会長	<p><b>(4)意見交換</b></p> <p>他に何かありますか。</p> <p>無いようですので、次の意見交換に入りたいと思えます。</p> <p>提案をいただく事がいっぱいあると思えますので、山口委員からお願いします。</p>
山口委員	<p>今までなかった審議会が新しく出来て、町として不都合はないですか。</p>
町長	<p>不都合はありません。以前旧小鹿野町の黒沢町長の時に、こういった審議会を作り、活躍されていたと聞いています。新小鹿野町では初めてですが、旧小鹿野町ではこうした会を作りやっておりました。</p> <p>議会提案した時に心配されたのは、色々な審議会があり、関連付け等でございますが、町長に対して色々な意見を言ってもらい、さらに勉強して色々な政策を積み上げていくんだ、という話をさせてもらっていますので、あまり気になされずにご発言をして</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	いただければと思っております。
小松会長	(山口委員)よろしいですか。飯塚委員どうぞ。
飯塚委員	資料の中で、小鹿野町まちづくりアンケート調査結果報告書がありますが、この後ご説明があるかもしれませんが、これをまとめられて、事務局の方から報告していただいたらどうかと思います。
小松会長	事務局から説明をお願いします。
総合政策課長	(小鹿野町まちづくりアンケート調査結果報告書の資料に基づき説明)
小松会長	ありがとうございました。 まちづくりアンケートにつきましては、今日初めて配付されましたので、後でご一読いただき、また小鹿野町まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましても、後でよく読んでいただき、次の審議会の時に活かさせていただければと思います。 宮林委員どうぞ。
宮林委員	最初ですので、審議会の持ち方について僕の考え方を述べたいと思います。 恐らく今まで色々やってきていると思いますが、それを実行に転換する時に難しかった事があったと思うのです。そうしますと、この審議会は町長のいわゆるブレーンとして、きちんと位置付けて政策を前面に出していくという自信、これは絶対に進めていくというバックボーンを捉えて、それを我々は後押しをしていくという、それぐらいの元気のある所ではないかと。と言いますのは、もうご承知のように日本経済は2020年を越しますと、大きく破綻してくると思います。その時に新しい転換があると思われる。その転換は、国際的な中で言われているように本物を重視する社会、暮らしを位置づける社会になってくると思う。僕が群馬県の川場村という所をやっていますが、日光を超して200万人の人が入るようになっていきます。しかしここ(小鹿野町)の方が全然近いです。ということは都市圏の下流域の人達をここへどうやって入れ込むか、かなりの戦略を作る必要があります。それには、ここにある資源と有効性を前面に出して、ネットの世界を使うことにより、現在はまさに情報の時代ですので、そういった所に戦略を持っていく場合に、いままでの戦略(町のパンフレット・HP等)を総点検すると外国まで飛んでしまう、いいものは外国まで飛んでいき、そこを目がけて入ってきますので、戦略のための審議会でありますから、「町長これをやれよ」ぐらいの強いのを出すのが、恐らくこの審議会の位置づけになってくるのかという風に思っています。それをやるためには、私たちがこの地域を良く知ることと、どんな資源を持っているかをきちんと把握すること、それが下流域にとってどんな物なのか、例えば有機農業をやっていこうとすると、有機とただで人が集まる時代が間違いなく来ます。今「ほうれんそう」を分析すると、10年前と今の物では鉄分が10倍違うのです、太陽の光とか土づくりをやっていないので10倍入っていないのです。ですから子供達の48%位がアレルギーなのは本物を食べていないからです。そういった事が明らかになってきますので、それを小鹿野に行けばちゃんとした本物を食べて丈夫になっていく事というような戦略を作って売り出していきますと、プラスになっていくような事がありますので、創生が終わってからだなんて言っていたら遅くなってしまいますので、今からそういった方向へ転換していく、そのた

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>めには我々が、例えばし尿関係と竹を混ぜてやると、大変素晴らしい堆肥が出来て、それにミネラルが入っていて、それで育てた野菜は成分が良くなる、というような事があると大学連携という事で内の方に持ってきて、それを下流域に売り出す、或いは来てもらって一緒に作っていくという所に、路線を置いていくような方向を少し模索していったらどうかという風に思っております。実はこうした動きは荒川上流、中流、下流でやっていきたい所なのですが、ここは的が当たった土地があるという事で、人が入り易い側面を持っているのと、景観が里山という空間を持っているので、非常に親しみ易い日本のふるさとといった所を持っていますので、住民の皆さんも非常に良い所だと評価をしているのだと思う。そうした所を背景に持ちつつ町長の戦略を活かせるような、協議会にしてあげると作った意味があるかと思えます。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、宮林先生から審議会に対する意見がありましたので、それも含めて皆さんから、何かご意見はありますか。</p> <p>他の委員さんの施策とかありましたら、ご意見をお願いいたします。</p> <p>どなたかおりませんか。(いないようなので)</p> <p>私が以前審議会の会長をやっていたので、1つだけ参考に申し上げます。</p> <p>今、宮林先生がおっしゃられた所は非常に重要なのですが、審議会は権力がないのです。議会は権力を持っている。黒沢元町長が亡くなって審議会がなくなったというのは、これは町長、事務局方にしっかり対応していただきたいので申し上げますが、町が二重構造になっているのではないかという議員側の不安がある。議会より審議会を重要視しているという風になってきて、結果的には審議会で良い意見を出してあげても実施に移す際に議員側の不安が生じてくる。審議会の先生方は外部から選出され日本中の情報も持っているので良い意見が出てくる。そうする、議会側が受けになってしまい実施が出来ない状況になってきた。例えば、まちづくり審議会をやった時に、当時全体の投資額30億円の事業で、町の投資は2億円でまちづくり事業を提案したが、議会の手前で消滅した。その事業は中心市街地を活性化し、孫を呼んで来れる町にしたいということでやったが、結果的には議会の反対で実施できなかった。ですので、議会をうまく巻き込まないとうまくいかないと思う。それと一番は、こんな風になっているのは政治の責任だと思いますので、町長のやる気があれば出来ますので、思い切った施策をやっていただきたい。</p>
<p>小松会長</p>	<p>次に意見がありまら、お願いします。</p> <p>宮林委員どうぞ。</p>
<p>宮林委員</p>	<p>会長に大変素晴らしい事を言ってもらいました。</p> <p>大体の所は議会が強いです。審議会は議会で決まった答申、若しくは実施部隊の所を審議していく。ただ、それをやっていると間に合わなくなってしまうので、議会もこれからの10年先を見たときに、これではだめだということが明らかに解っているのではないかと思います。これからどうするという議論をしてもいいくらいの事をやってみたら良い。</p> <p>この審議会は審議をするということと、コンセンサスを得る事をやっていかないと、世</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>の中についていけない。国交省はインフラの整備は県、市町村でやってもらうという計算は始まっている。というのは、財政が小さくなってきているので、そういうのが来てからでは遅いので、今から町民を巻き込んで自らの町づくりをやっていこうというコンセンサスを取りながらやっていくということが重要ではないかと、今のお話を聞いてそう思いました。</p>
<p>小松会長</p>	<p>その他ありませんか。今井委員どうぞ。</p>
<p>今井職務代理人</p>	<p>今、会長と宮林先生の方から良い意見を聞かせていただきました。</p> <p>私の方からは宮林先生がおっしゃいましたように、町長と小鹿野町の副町長を初め事務方の方をお願いしたいということで、今月末ですけども、町長がおっしゃいましたように独身の方がいっぱいおりまして、結婚をしたくてもできない若い人もいれば、色々な方がいますが、代表者の方が秩父の方で健康食品をやっている方ですが、企業のトップが集まって出会い系のものを作ろうという事で動きだしています。現在秩父に地場産センターを中心にファインド秩父というのがございます。ファインド秩父に加盟している企業が約160社程度ございます。ファインド秩父が数名の企業トップの方で社団法人を立ち上げ、出会い系の事業を起こそうとしています。会社のトップとしては独身の方が何とか家族を持ってもらいたいという強い意志がありますので、来月町長へも賛同の依頼に来るかと思われませんがその際はよろしくお願いします。仮に東京方面から来られる方がいる場合はハローワークもありますし、ファインド秩父には約160社加盟しておりますので、仕事の希望によりファインド秩父も就職に協力できる体制です。</p> <p>それからもう一点です。昨年12月に林野庁の会議がありまして、来年から森林環境税が入ります。小鹿野町にどれくらい入るかは、まだ決まっておりませんが、先日秩父市で説明会があり、国会議員から秩父市に8,700万の森林環境税が入ってくるという説明がありました。仕組みとしては、会計検査院の入らない地方交付税のような形ということ聞いています。小鹿野町にも4・5千万円というお金が入ってくると思われれます。</p> <p>ある地方の自治体では第三セクターを利用して、村、町で製材工場を起こすというような事や、比率をみると林業就業者数も助成金比率にあるようです。後は就林の面積ですので、その辺を役場の方で把握しているか。もし把握していなければ、国の方の一方的な調査で決められると思うので、その辺は足早に作っておいた方が良いと思います。ちなみに、現在製材業は大変な状況に追い込まれた産業ですので、製材の機械を造るメーカーは日本で3社しかない状況ですので、一つの機械を製造するのに、お金も期間もかかってしまいます。森林環境税は入ってくるお金ですので、そして4・5年はプールしていいようですので、庁舎も古くなっていますので、建替えるのであれば県産材を使った庁舎を造っていただければと思います。</p>
<p>小松会長</p>	<p>その他何かありますか。萩原委員どうぞ。</p>
<p>萩原委員</p>	<p>県内の自治体データは見ていたが、秩父地域全体で人口が15万人いたのが、いつの間にか10万人を割っている減り方になっていまして、まち・ひと・しごとの資料3ページをみますと、第1次減少期があり安定期そして第2次がある、秩父は繊維とセメントで栄えた所があり、人口の減少と産業の減少の所を、細かく教えていただきたいのと、ア</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>ンケートは高齢女性が多く回答しているが、今後20年どう考えているのか、これからの生活の不安をどうサポートしていくのかというのが、地方では大きな問題になってきます。もう少し細かく言うと、ゴミ出し、私道の管理になどの不安ですが、元々大家族が安定的に住み続ける集落が、子供が出て行って高齢者が残されてその後どうしようということが地方部で問題になっていますが、ここ(小鹿野町)がどの状態かはお聞きしないと分かりませんが、あと集落ごとの将来的なビジョンがどうなのか、それぞれどう支えていくか何か出来ていればお教え願いたい。よろしくお願ひします。</p>
総合政策課長	<p>集落ごとの集計が出来ているかということについては、まだ出来ていないということでございます。人口減少の関係ですが、細かな分析は出来ていませんが、今までは小鹿野町の山間部から町場へ出てくる人と、町の中心から秩父市その他町外に出て行く人のバランスが取れていました。ここ2・3年は町の中心から町外へ出て行く人も増えており、人口減少に拍車がかかっている状況は把握している所でございます。</p>
萩原委員	<p>あと、将来の話で、Iターン、Uターンを増やしましょうとあるのですが、実際に来るとすると、住まいと、仕事と、教育なんです。30・40代ですと、良い環境で子育てをしたいと考えれば、実際住まいと、仕事と、教育をきっちりアピールしていきたい。若い人一人て来ていただくより、家族で来て周辺となじんでいただいた方が、比較的来やすいという事ですので、3点セットはどうなのか考えていただきたい。以上です。</p>
小松会長	<p>その他ありますか。宮本委員どうぞ。</p>
宮本委員	<p>今度開通しました、尾田蒔の有料道路の出口付近に看板整備は決まっているのですか。</p>
町長	<p>それにつきましては、大至急検討して地主とも看板設置に向けた交渉を実施し、看板を設置する予定です。また、西関東自動車道建設事務所にもお願ひをして、道路標識もしっかりした物を造っていただくようお願ひしています。観光サイドは町で検討し、2本立てでやっています。私も3月20日開通予定ですので期待をしています。</p>
宮本委員	<p>私が良く日中散歩していると、皆野寄居バイパスを降りてきた車に、三峰神社はどこか聞かれます。折角ここまで来て三峰神社を案内するのはもったいない気がしますので、案内看板を設置して観光客を誘致したい。旅行客は国内の方も海外の方もSNSへ掲載したい方が多い。そのため良い写真を撮りたいのでパワースポットが重要だと思いますので、小鹿野町でも是非氷柱、歌舞伎等を利用して、案内看板作製していただき、少しでも作製に携われればと思います。</p>
町長	<p>昨日、バンビサービス共同組合と話をしたのですが、三峰神社の観光客が非常に多いという事で、荒川の贅川に看板が必要ではないか。ただあそこは1つ欠点がありまして、双神トンネルの幅員が狭く、観光バスの誘導が難しいのですが、自家用車であれば両神方面からの抜け道になりますので、向こうにも看板を出してほしいとの要望がありますので、そちらも至急検討したいと思っております。</p>
小松会長	<p>黒澤委員どうですか。</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

黒澤委員	<p>私は、ずっと秩父郡市内の工業系の会社で働いておりまして、5年程前から農業に取り組んでいます。私がちょっとびっくりしたのが、住民アンケートで75%の人が農業系の事で、悩んでいるという事です。確かに、地域を見ると高齢者の方が畑を耕しているのですが、高齢者の方だと全面の畑まで行き届かなくて、一部を耕しています。</p> <p>一部販売を目的で作っている方が、折角作った野菜の販路がなく、近所に配ってしまおうとか、最悪畑で終わってしまう方が見受けられる。私は立場的にこういった所で提案が出来ればなと考えた所です。農業は低所得ですが、年金にプラスαとの考え方をすれば可能性もあるし、若い人にも取り組んでもらいたいと思っています。うまく生産物の流通を作ってあげて、収入源の一つになるような形がとれたらなと感じた所です。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。山口委員どうですか。</p>
山口委員	<p>私はこちらに来て14年経ちますけど、息子が東京に住んでいます。先程畑の話が出ましたが、息子も市民農場を借りて朝早く起きて、借りている農園を楽しそうにやっています。農業は畑を借りて多少お金が掛っても、趣味のスポーツをやるより割安にできますので、空いている土地を利用して、設備の良い農園を貸し出すと受けるのではないのでしょうか。</p>
小松会長	<p>飯塚委員どうですか。</p>
飯塚委員	<p>移住、定住、Iターン、Uターンの話もございましたけど、それに重要なのが、働くこと、住まいのこと、教育という事でしたので、私は教育の事で私の考えをお話しさせていただきます。教育を充実させるためにはすごい時間がかかると思う、しかし今やらないと、10年後、20年後に芽がでません。ですから、種を蒔いておく作業が極めて重要だと思います。その際の視点は、今人口減少で地方がものすごい競争になっていますので、他の地域ではない小鹿野は教育が充実しているんだ、ということを出していかないと抜きに出られないと思います。今日は教育長さんもいらっしゃいますので、そういう視線で是非考えていただく必要があるかと思えます。ネタは全国にいっぱい散らばっていますので、それを小鹿野町の教育でこれが重要だというようなものを打ち出していただければと思います。小鹿野町は他の地域にはない、公立の幼、小、中、たぶん中高一貫教育でやっている高校まであるので、これだけ揃っている田舎町は全国でもそうはないと思いますので、これを活かしていただいて、種を蒔いてもらう作業がここ1・2年重要だと思います。ネタもありますし、そういった提案も必要があれば是非やらせていただきたいと思えます。</p> <p>もう一点、今日も色々な意見が沢山でしたが、これをまとめ上げて、町民に物語風に伝わるようなまとめ方をして頂いて、打ち出して頂く必要があると思えます。</p> <p>その辺の作業をよろしくお願いします。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。吉田委員ありますか。</p>
吉田委員	<p>ウェルカムライダーズおがのという事で、全国のライダーが小鹿野町を訪れて頂いている現状があります。その中で思う事は、訪れて頂く方、基本的には観光客と同じ位置づけです。ライダーさんと言葉を交わす機会が極めて多いのですが、なぜ小鹿野町に来て頂くのか尋ねると、小鹿野町のわらじかつ井を目指して来ていただいている。10年</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>以上前になるが、当時ライダーがわらじかつ井を食べてブログに載せた事がきっかけで、次第に来るようになった。その時点で町の施策として、町民もライダーを温かく迎えて又来てもらう、という事で始まったのが私どもの取り組みです。</p> <p>当時は、都内から国道299号を利用して群馬や長野に向かうための通過地点であって、たまたまかつ井を食べたライダーがネットに載せたため、次々と来るようになっていった。極めてリピート率が高く、私の知る限りで、週末は小鹿野人みたいな方もおります。その方は特に目的がある訳でもなく、休日を小鹿野で過ごすために来ている。</p> <p>何年か前に、商工会で交通量調査を実施して頂いた時、土日は1日250から300台位のオートバイが、調査ポイントを通過している。調査ポイントはバイパスではなく、街中ですので基本小鹿野町において頂いているのだろうと思われる。これについては町として我々として、印刷物で配る事は一度もやっていない。3月の末にビックサイトで東京モーターサイクルショーに、町として数年参加していますが、町として参加しているのは小鹿野町だけです。ライダーの中では知名度は上がっていると思います。年1回ウェルカムライダーの主催事業を行う際、各メディアの取材が来て、そこでまた発信していただき、小鹿野町を訪れるライダーが増えている現実があります。</p> <p>それとはちょっと違う話ですが、両神山の向こう側にニッチツ鉱山がありまして、大正から昭和40年頃まで鉱石を運ぶ索道が通っていました。索道についてのイベントを行った時、チラシはほとんど配らず、FBに掲載したところ20、30人位集まれば良いと思っていたところ、70人の人が集まってもらった。どこで情報を知ったかを聞いた所、ネットでの情報で来たということであった。最近のネット年齢はどんどん上がってきていると思う。私が63歳だが、私より歳下の方はどんどんそういった形になると思う。今日、皆さんのお話を聞いた中でも、これから上手くネットを使っていかなくてはと思う。</p> <p>資料の中に、町のパンフレットがありますが、こういうのを、ペーパーメディアで作ると同時に、ネットで拡散していく。ネットのメリットは、ほぼリアルタイムで情報を共有できるということだと思う。テレビで放映されるとお客さんが増えますよね。</p>
<p>宮本委員</p>	<p>そうですね、父のころは電話が鳴りやまなかったですけど、今はネットを見ている数が分かるので、即座に何百、年千と数字が増える。電話はかかってこない、時代が違う。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>町をPRしてくれるのには、ネットは非常に有効である。我々が考えている、町起こし、福祉だとかにネットが活用できないか。4年前の大雪のときは、幸いに、電気、電話は通じていて、リアルタイムに連絡が取れる状況だったので、大きな被害につながらなかった。そういった事を考えると、町の福祉に情報インフラをいかに構築していければ、より安心して住みよい町になっていくかと思う。</p>
<p>小松課長</p>	<p>ありがとうございました。山口委員どうぞ。</p>
<p>山口委員</p>	<p>例えば個々の案件について、町長から諮問をされ答申した場合に、他の会と重複することはないのですか。</p>
<p>町長</p>	<p>確かに重複する部分もあるかも知れませんが、出来ればこの会ではもっと大きな事をテーマにやっていただきたいと思っている。</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

山口委員	基本的には町長から諮問を頂くのですか、それともこちらかの意見を出すのみですか。
町長	どちらもあると思われますが、産業振興、定住の関係、交流人口等で、あまりピンポイントの課題ではないと思われます。 もし重複しても、こちらで受けて棲み分けはさちっとします。
小松会長	皆さんの意見を受けたうえで、最後に宮林委員何かありますか。
宮林委員	<p>今の話ですと、すでにパンフレットを変えなくてははいけません。ここに何がありますというパンフレットではなく、ここで何ができますというパンフレットに変えないと見てもらえない。</p> <p>先程の都市の人達の農業ですが、すでに大きな団地が農地を借りたいという話が出てきていますが、まだいくつかの問題があります。</p> <p>庁舎ですが、折角大きなお金をかけてやるのだから、木造が良いと思われる。そして、機能を幾つか持たせるように道の駅を造ったらいい。1箇所のにぎわいを作り、都市を造るしくみを作りあげていけば、ひとつのポイントから体制を広げていく事も必要である。</p> <p>それから、地域に人を呼ぶためには、教育、仕事が非常に大事であるが、ポイントをどう作っていくかですが、例ですが、ある村で700人規模の小学校に今年10人転入する所がありますけど、その村は大きな都市に、1度は村に来てもらうという戦略を作り、学校でも企画を考えて、戦略を作りあげていくことは非常に重要な事で、そういった所から資料を頂いて戦略を作っていく事も、この審議会の中でやっていってもいいのではないかと思う。</p> <p>先程のお話の中で、すごいと思う事は会社の集まりがあり、仕事をすぐに見つける事ができるのであれば、人を誘致し易い。その辺を有効に活用し、戦略に替えていくというような事が出来ればいいと思います。</p>
小松会長	折角ですので、オブザーバーの山本さんどうですか。
山本 オブザーバー	私は、小鹿野支店に来て3年になります。町の行事にも沢山参加させていただきました。そういった中で感じているのは、個々にやっているイベントは、すばらしく地元の人達が入れ込んで行っている。一つ一つのコンテンツはすばらしいが、そういう事を町としてPRしていくのが欠けているなと感じていた。一つ一つのを戦略的に情報発信をしていったら、もっと繋がっていくと感じる。是非この場でそういった戦略も考えて頂ければと思います。
小松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは時間になりましたので、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>今までの皆さんの意見は、すべてやりたいと思うのです。また、町民の意見もすべてやりたいという事だと思います。しかし、決められた予算と人でやるのには、何かをやらうとすると、何か犠牲にならないといけません。それを犠牲と感じさせないために町づくりは、すべての町民のための町づくりである。行政、議会がやるのではなく、町民がやる</p>

## 小鹿野町政策審議会 会議録 (第1回)

	<p>というのを理解させないといけない。</p> <p>これから、人口が減少して本気でやる気があれば、土地は町が提供すれば良いと思う。しかし、それをやるには何か犠牲になるというようにならないといけない。</p> <p>買い物だけでも秩父ではなく、小鹿野で買えばそれだけで町づくりに繋がる。また、健康でいることもそうである。そういった事を町民に周知し、全町民で町づくりをしていく。</p> <p>何を言っても、長尾根の屏風は高いので、あれを越して人を連れてくる事は並大抵の事ではない。町長、職員で町民を説得し町づくりを進めていただきたい。</p> <p>町づくりを進めるためには、この審議会が皆さんの盾になりがんばりますので、ぜひ委員の皆さんのご協力をお願いいたします。役場の執行部の方は心強く思ってもらい、利用してください。</p> <p>以上で、審議事項を終わりにいたします。事務局から何かありますか。</p>
事務局	次回、審議会日程等に関し説明。
小松会長	<p>次回は、3月22日、午後2時からといたします。</p> <p>その他、何か委員さんからございますか。</p> <p>以上で議長の座を降ろさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
総務課長	<p><b>6 その他</b></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、その他のところで事務局から説明をさせていただきます。</p>
事務局	報酬、費用弁償等について説明。
総務課長	<p>以上で、本日の準備させていただきました案件はすべて終了いたしました。</p> <p>大変ありがとうございました。</p> <p>以上で、第1回小鹿野町政策審議会を終了させていただきます。</p>